

製品名: CD200 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08271**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	31kDa

抗原情報

遺伝子名	CD200
別名	CD200; MOX1; MOX2; My033; OX-2 membrane glycoprotein; CD200
遺伝子 ID	4345.0
SwissProt ID	P41217
免疫原	抗血清はヒト CD200 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

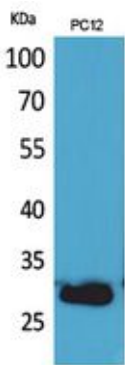
背景

この遺伝子は、膜貫通ドメインと細胞質ドメインの2つの細胞外免疫グロブリンドメインを含むI型膜糖タンパク質をコードしている

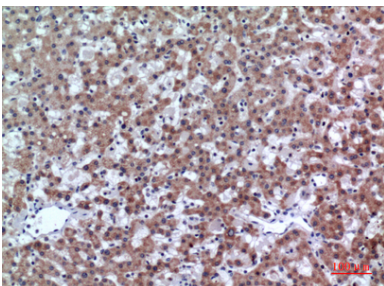
す。この遺伝子は、B細胞、T細胞のサブセット、胸腺細胞、内皮細胞、ニューロンなど、様々な細胞種で発現しています。コードされているタンパク質は、免疫抑制および抗腫瘍活性の調節において重要な役割を果たします。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq提供、2016年1月],機能: T細胞増殖を共刺激します。様々な組織において骨髄細胞の活性を調節する可能性があります。類似性: Ig様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを1つ含みます。類似性: Ig様V型(免疫グロブリン様)ドメインを1つ含みます。サブユニット: CD200R1と相互作用します。,

研究分野

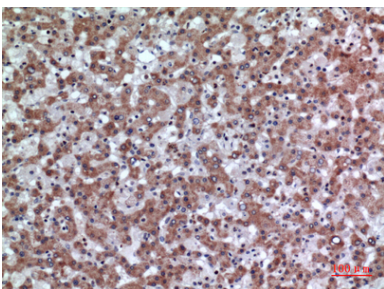
画像データ



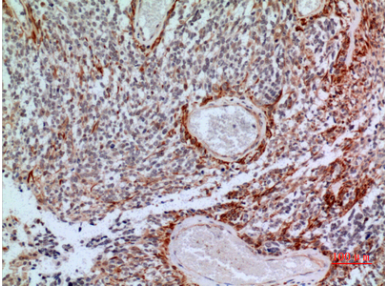
CD200 ポリクローナル抗体を用いた PC12 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



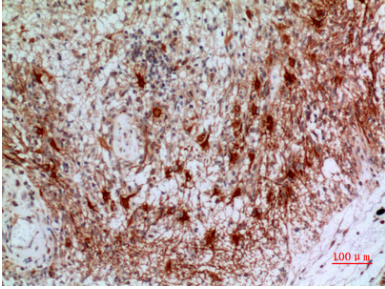
パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された